

V在L形式と動詞の性質

秋山, 淳
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/4494519>

出版情報 : 比較社会文化研究. 11, pp.87-92, 2002-03-15. 九州大学大学院比較社会文化研究科
バージョン :
権利関係 :

“V在L”形式と動詞の性質¹⁾

秋 山 淳

0. 序

中国語の動詞は裸のままでは動作の達成を意味しない。動作の達成を表す方法として結果補語やアスペクト標識の付加などが行われる。そういった動詞の達成を表す標識の一つに動作に関する場所を導く介詞の一つとして“在”がある。本稿は“在”を伴う構文について考察を進め、中国語の動詞の本質について明らかにしようと試みるものである。

本稿の考察対象は次の形式である：

(i) “(把)+(O)+V+在+L” (以下“V在L式”とする)。²⁾

刘月华ら(2001:634)の定義では、“在+名詞”が動詞の前にあるときは、“介词短语”(介詞フレーズ)で、場所、空間を表し、動詞の後にあるときは“在”は動詞で、結果補語になり、場所を表す名詞が目的語になる。例：

(i) 在LV式

(1a) 这想法让心情愉快, 我拉起天天, 我的爱人, 在人行道上共舞。

<この考えは私を愉快にさせた。私は私の恋人・天天的手を取り、歩道の上で踊った>《衛》

b 李缅甸在门口让韩丽婷换拖鞋。

<李缅甸は戸口で韓麗婷にスリッパを換えさせた>《王》

(ii) V在L式

(2a) 柳絮飞上枝头, 飘落在地, 使得春天的街景到处白茸茸的犹如发霉长了毛。

<柳絮がこずえに舞い、地面に舞い落ち、春の街の至るところを白くふんわりとまるでカビが生えているようにしていた>《王》

b 韩丽婷端着两盘拌好的凉菜出来, 放在餐桌上, 自我欣赏着: “色香还是挺勾人食欲的吧?”

<韓麗婷はしっかり和えた前菜を二皿運び、テーブルに置き、自ら味わいながら:「色やにおいがやっぱり食欲をそそるわよね?」>《王》

(1a)は「私と天天が歩道の上で踊る」という動作の場所を意味し、(1b)は「李缅甸が戸口で韓麗婷にスリッパを換えられる」という動作の場所を表し、(1)の二つの「在LV」は主語がある場

所で、動作を行うことを表す。この(1a)、(1b)は“V在L”形式で表すことはできない。

(1) a' *我和天天跳舞在人行道上。(≠(1a))

(2) a' *李缅甸把拖鞋换在门口。(≠(2a))

(1a)、(2a)の“在L”を動詞の後に置くと、“在L”はそれぞれの主語の存在位置を表すことができず不適格な文になる。この二つの動詞“跳舞”、“換”は“V在L”の形式を取ることができない。それはなぜだろうか?

(2a)は「柳絮が風に舞って地に落ちる」という状態を意味し、(2b)は「韓麗婷が前菜を運び、テーブルに置いた」という状態を意味している。この場合、“V在L”は場所が目的語の到達するところを表す。なぜ(2)の動詞“飘落”、“放”は“V在L”形式を取ることができるのか?

本稿では“V在L”形式の“V在”が複合動詞であるという立場をとり、石村(2000)と同様にその分析方法として、出来事構造(event structure)の観点から考察を行うものである。³⁾ 先ず1節で出来事構造について述べ、2節でV在L形式に現れる動詞、3節でVとLの結合、及び動詞の意味特徴について述べていく。

1. 出来事構造

先ずは次の例文を見てみよう。

(3a) 她把菜盘放在茶几上, 从沙发上拿起一卷手纸, 撕下一截儿, 擦擦嘴擦擦拣菜的两个手指, 把纸揉成一团扔进堆满烟蒂的烟灰缸。《王》

<彼女は料理皿を茶卓におき、ソファからティッシュをひと巻き手にし、一切れちぎり、口や料理を選んだ二つの指を拭き、それを丸めて吸殻でいっぱい灰皿に投げて、飛び散らせた>

b 她把到手的睡袍和大毛巾一起扔在床上。我也不太习惯人家的睡袍。《中》

<彼女は手に入れたネグリジェと大きなタオルをベッドに投げた。私も人のネグリジェはあまり慣れない>

(3a)は“她”「彼女」が“菜盘”「料理皿」を茶卓に置き、その結果、料理皿は茶卓にあることを表す。(3b)は“她”「彼女」が

“睡袍和大毛巾”[“ネグリジェと大きなタオル”]を投げ、その結果、ネグリジェとタオルはベッドの上にあることを表す。この二つを出来事構造で表すと次のようになる。

- (4)上位出来事(行為/原因) 下位出来事(結果)
 a. 她放菜盘 → 菜盘在茶几上
 b. 她扔睡袍和大毛巾 → 睡袍和大毛巾在床上

(3a), (3b)は主語の行為(または原因)を表す上位出来事とその結果を表す下位出来事が合成されたものと考えられる。これは丁度、“VR”型の合成複合語、いわゆる動補構造の複合動詞の合成の仕組みと同じである。

- (5a) 肖科平再次笑眯眯地推开李緬宁的房间, 大大方方进去, 在他二人对面坐下, 为韩丽婷添水。《王》
 <肖科平は再びニコニコしながら李緬宁の部屋の(ドア)を押し開け, 堂々と入っていき, 二人の向かいに座り, 韓麗婷に水を注いだ>
 b 我奶奶认定这是一出谋杀, 我爸从来没有心脏病, 是我妈杀死了我爸, 奶奶说我妈妈在那儿有了另外一个男人, 和那男人一起同谋害死了丈夫。《衛》
 <僕の祖母は謀殺だと言いつ張ってるんだ。パパはずっと心臓が悪くなかったからね。ママがパパを殺した, ほかに男がいて, その男と謀ってパパを殺したに違いないって。>

(5)の出来事構造は次のようになる:

- (6)上位出来事 下位出来事
 a. 肖科平推房间 → 房间开
 b. 我妈妈杀我爸爸 → 我爸爸死

(6a)は「肖科平が部屋(のドア)を押し, その結果李緬宁の部屋(のドア)が開いた」ことを表す。(6b)は私の母が私の父を殺(そう)し, その結果父が死んだことを表す。一般に中国語の動作動詞はその動作の達成も達成の持続も含意しないといわれている。その理由はTai(1984: 295)が次のように述べている:

中国語は基本的に結果重視の言語であり, 表現の視点は変化を被る対象のところに位置している。

行為(action) ← ————— 変化対象(result)

結果を基本に据えるから, 殺した相手が死ぬ場合には“死”という動詞を先ず置いて, その前にどうして死んだのか(つまり人に殺されたの)を表す“杀”を付ける。このように結果の観点から行為を見つめるから, 視点は行為のほうに向かい, そのため単純な(つまり, 結果複合動詞でない)他動詞は行為のほうに重点を置くことになって, 完了結果までは含意しない。

——影山(1996: 289-290)——

つまり(6b)の動作動詞“杀”は補語動詞の“死”があつてようやく父が死んだことまで表される。(6)の意味構造と構文をまとめると次のようになる(Rは結果を表す)

- (7)基本文型 意味構造

x VR y/x把 y VR——x V y CAUSE y R⁴⁾

さて, (6)の“V在L”の出来事構造に戻ってみよう。(4a)は彼女が料理皿を置いた結果, 料理皿は茶卓に存在する。従ってこの場合の基本文型, 意味構造は次のようになる:

- (8)基本文型 意味構造

x (把 y) V在L——x (把 y) V CAUSE (y) 在L

(8)は主語を表す“x”がその目的語である“y”に動作を行い, その結果“y”がLに位置するという意味である。“VR”と違って“V在L”は場所項としての名詞が増えており, 中国語の動詞は処置対象であるより, 新たな名詞である“在L”と結びやすくなる傾向があるために, 目的語の“y”は“把”に前置される。5)自動詞の場合は目的語の“y”が存在しないので, (把 y)のないxV在Lの形になる。つまり, VRの結果重視と同様に, “在L”と動詞が結合しやすい性質を考えると“V在L”形式においても, “在L”の結果重視型であるといえる。石村(2000)ではこのことから, “V在L”式の“在L”を結果とみなし, “VR”と同様に行為(action) ← ————— 結果位置“在L”という視点を持つと考えている。本稿も基本的に同じ立場をとる。

2 “V在L”に現れる動詞

出典より集めた“V+在”の形式に現れた動詞は次の通りである:

升(起)「上がる」, 住「住む」, 隐含「暗に含む」, 挖「掘る」, 发生「発生する」, 坐「座る」, 照「照らす」, 浮「浮かぶ」, 耸立「聳え立つ」, 展现「展開する」, 站「立つ」, 驻守「(防衛のために)駐屯する」, 养「飼う」, 走「歩く/行く」, 放「置く」, 死「死ぬ」, 停「止める/止まる」, 留「残す/残る」, 徘徊「さまよう」, 蜷缩「丸く縮こまる」, 挂「掛ける/掛かる」, 花「費やす」, 活「生きる」, 附「近づく」, 摆「並べる」, 弥漫「充滿する」, 陷「くぼむ」, 呈现「現す/現れる」, 潜伏「潜伏する」, 倒「倒れる」, 藏「隠す/隠れる」, 绑「縛る」, 生活「生きる」, 刺「刺す」, 睡「眠る」, 画「描く」, 滴「滴る」, 穿「着る/穿く」, 围「囲む」, 躺「横になる」, 丢「ほうっておく」, 长「生える」, 钻「潜り込む」, 包裹「包む」, 放平「横たわる」, 藏匿「隠す」, 处「ある」, 含「(口に)含む」, 泡「浸す」, 罩「覆う」, 踩「踏む」, 掉「落ちる/落とす」, 压「放置する」, 塞「押し込む」, 顶「押し上げる」, 射「噴射する」, 依偎「寄り添う」, 吹「吹く」, 摊「平らに敷く」, 散落「散在する」, 关「閉じ込める」, 露「さらけ出す」, 出现「現れる」, 开「開く」, 打「たたく」, 爬「はう」, 嵌「はめ込む」, 靠「もたれる」, 带「携帯する」, 沉「沈む」, 伏「伏せる」, 拱「持ち上げる」, 消失「消える」, 盛「入れる」, 混「混じる」, 挤「押し合いへし合いする」, 迷失「見失う」, 倚「寄りかかる」, 发表「掲載する」, 呆「留まる」, 倾「こぼす」, 蒙「かぶる/かぶ

せる], 划「(とがった物で)こする」, 生「生まれる」, 披「掛ける」, 坐落「位置する」, 斜坐「斜めに座る」, 埋「うずめる」, 建立「確立する」, 包括「含める」, 闪烁「きらめく」, 展览「展示する」, 晾「干す」, 出没「出没する」, 堆积「堆積する」, 粘「粘りつく」, 俯「顔を伏せる」, 储备「蓄える」, 夹「挟む」, 摔倒「転倒する」, 残留「残る」, 跨「跨る」, 沾「附着する」, 护「かばう」, 插「突っ込む」, 蹲「じっとしている」, 缩「縮こまる」, 遗忘「忘れる」, 漂浮「漂い浮かぶ」, 趴「うつ伏せる」, 浸「水につける」, 暴露「さらけ出す」, 附「寄り付く」, 托「(手のひらや他のものの上に)載せる」, 投射「投げかける」, 置「設ける」, 界定「境界線を引く」, 披散「髪を振り乱す」, 掩「覆う」, 依「頼る」, 着落「到着する」, 集中「集中する」, 斜倚「もたれる」, 飘「漂う」, 印「焼き付ける」, 贴「ぴたりとつける」, 叫「くわえる」, 座(=坐)落「位置する」, 游移「迷う」, 悬「ぶら下がる」, 矗立「直立する」, 套「はめる」, 飞「飛ぶ」, 戴「はめる」, 握「握る」, 搁「置く」, 盖「かぶせる」, 按「押す」, 沉溺「溺れる」, 飘落「漂い落ちる」, 浮凸「浮き出る」, 阳「外に露出している」, 摞堆「積み重ねる」, 堵「ふさぐ」, 写「書く」, 竖立「直立する」, 系「縛る」, 掖「突っ込む」, 砸「落とす」, 溅「(液体が)跳ね上がる」, 躲「隠れる」, 摞「積み上げる」, 仰倒「仰向けに倒れる」, 投「投げる」, 装「詰める」, 扣「かぶせる」, 撒「(粒状のものを)撒く」, 卷「巻く」, 涌「湧き出る」, 搂「抱きしめる」, 勾「埋める」, 摆列「配列する」, 隐「隠れる」, 缠「巻きつける」, 播「すりつぶす」…

次節ではこの中からいくつか動詞を選択し、おおよその意味に基づいて分類を試みるものである。

3VとLの結合。

先ず次の例を見てみよう。

- (9a) 格林先生用纸条告诉格林太太早晨六点叫他，而他醒来已是八点，格林太太把“嗨，起床”写在了纸上。《王》

＜格林氏は朝六時に起こすよう紙に書いて妻に告げたのに、起きたときには既に八時で、妻は「はい、起きなさい」と紙に書いてあった＞

- b …另有康有为写的一首诗刻在碑上：钟声已渡海云东，冷画寒山古寺…

＜他に康有为が書いた詩が一首碑に刻まれている：鐘声已渡海雲東，冷畫寒山古寺…＞《中》

- c 她把两盘菜放在堂屋的圆桌上，从桌上的饭锅内为自己盛了碗饭，坐下正要吃，看见李缅甸拿着自己的碗筷从容地在桌对面坐下。《王》

＜彼女は二皿の料理を母屋の円卓に置き、テーブルの釜から自分で御飯をつぎ、座って食べようとすると、李缅甸が自分の茶碗とお箸を持ち、落ち着いてテ-

ブルの向かいに座っているのが見えた。＞《王》

- d 他的自画像挂在钢琴的上方，是一张毫无瑕疵的面孔，谁能拒绝爱这样一张脸？

＜彼の自画像がピアノの上の方に掛けてある。少しの欠点もない顔。そのような顔の持ち主をどうして愛さずにおれようか？＞《衛》

- e 她对我们飞吻，钻进停在路边的一辆白色桑塔纳2000，开着车一溜烟儿似的消失了。《衛》

＜彼女は私たちに向かって投げキスをすると、道端に停めてある白のサンタナ2000に乗り込み、あっという間に消え去った。＞

- f 邻居中的一位便问：“莫拉，你确定钥匙掉在这里吗？”莫拉说：“不！不是掉在这里，而是掉在这里。”邻居说：“钥匙掉在这里，为什么要在屋外找呢？”《中》

＜隣近所の一人が聞いた：「莫拉，はっきり鍵はここに落としたのか？」莫拉は答えた：「いいや！ここに落としたんじゃないくて、家の中に落としたんだ。」隣近所の人はいう：「鍵は家の中に落としたんなら、どうして外を探さなきゃなんのか？」＞

- g 肖科平穿着睡衣，坐在灯光雪亮的李缅甸房间玩他的游戏机。《王》

＜肖科平はパジャマ姿で、明かりがまぶしいくらい明るい李缅甸の部屋に腰をおろし彼のゲーム機で遊んでいる＞

- h 肖科平穿着轻薄、凉爽的绸衣站在窗前，阳光把窗玻璃映得辉灿晶亮。

＜肖科平は軽くて涼しいシルクの服を着て窓の前に立っていると、太陽の光で窓ガラスがまぶしく輝いている＞

- i 一个穿猩红色连衣裙女孩出现在我的视野。《王》

＜一人の深紅色のワンピースを着た女の子が私の視野に現れた＞

- k …放声大哭了起来，尤其是妈妈，哭倒在地上，大姐赶紧过去把妈妈扶到椅子…

＜大声で泣き始め、とりわけ母が地面に泣き崩れ、お姉さんが急いで母を椅子に助け起こした＞

(9a), (9b)は他動詞で作成動詞(影山1996参照)である“写”“刻”，(9c), (9d), (9e)は配置動詞(蘆涛2000)である他動詞の“放”，“挂”，“停”，(9f)は位置変化動詞の“掉”，(9g), (9h)は姿勢動詞の“坐”，“站”，(9i)は出現動詞の“出現”，(9j)は動補構造の動詞の例である。

(9a), (9b)は“写”や“刻”がもともと新しく物を作成するという意味の動詞なので，“在”を付加することにより，作成されたものが出現する場所が新たに導かれる。(9a), (9b)の出来事構造は次のようになる：。

上位出来事

下位出来事

(9a) 格林太太写“嗨、起床” → “嗨、起床”在纸上

(9b) (有人)刻康有为的一首诗 → 康有为的一首诗在碑上
時間の流れは上位出来事→下位出来事である。それぞれの動詞“写”や“刻”は「何かを書く」,「何かを彫る」という動詞で、場所項は義務的に必要ではない。しかし“在”と合成することにより、それぞれ“写在”,“刻在”という複合動詞が形成され,“在”は場所を表す介詞であるので,“写在”,“刻在”は場所名詞項を義務的に取るようになり,3項動詞になる。“V在”複合動詞がTai1984/影山1996でいうVR形式と同じと仮定すれば,(9a)(9b)は,次のような視点になる:

視点の方向

(9a) 格林太太写“嗨、起床” ← “嗨、起床”在纸上

(9b) (有人)刻康有为的一首诗 ← 康有为的一首诗在碑上
多くの研究者が主張しているように,中国語は「どうした」よりも「どうなった」に重視されるので,例えば,(9a)なら“嗨、起床”が紙に(書かれて)ある。原因は格林太太が“嗨、起床”を書いたからということになり,これを意味構造で表すと次のようになる:

上位出来事

下位出来事

(9a) 格林太太写“嗨、起床” CAUSE “嗨、起床”在纸上

(9b) (有人)刻康有为的一首诗 CAUSE 康有为的一首诗在碑上
CAUSEは語彙的な使役を表し~させるという意味で(9a)は格林奥さんが“嗨、起床”を書いたことが,“嗨、起床”を紙に存在させたという意味で,同様に(9b)は誰かが康有为の詩を彫ったことが,康有为の詩を石碑に存在させたという意味になる。(9a),(9b)のような作成動詞はもともと新しく物を作成するという意味だからが“在”と複合動詞を形成すると,場所名詞は事物の出現が起こる場所を表す。

(9c),(9d),(9e)の動詞“放”,“挂”,“停”はそれぞれ主語があるものをある場所に配置するという位置変化を表す動詞である。但し,この三つの動詞は例えば英語の配置動詞“put”のように場所名詞項を義務的に取る必要はない。しかしこの三つの動詞も“写”や“刻”のように“在”と合成することにより,場所名詞項を義務的に取らなければならなくなる。“放在”,“挂在”,“停在”の意味構造は次のようになる:

上位出来事

下位出来事

(9c) 她放两盘菜 CAUSE 两盘菜在圆桌上

(9d) (有人)挂他的自画像 CAUSE 他的自画像在钢琴的上方

(9e) 她停桑塔纳2000 CAUSE 桑塔纳在路边

(9c)~(9e)は(9a),(9b)と同様に位置変化によって事物が出現した場所を指す。(9d)と(9e)は「絵を掛けた人」や「車(サンタナ)を停めた人」が文中に主語として明示されず,自動詞用法として用いられている。もちろん(9c)も例えば“那两盘菜放在堂屋的圆桌上”ということもできる。(9a)~(9e)はNp在LV着に変換できる。

(9e) 他的自画像在钢琴的上方挂着。

このような動詞には藏,贴,插,泡,装,含…などがある(蘆涛2000)

(10a) 我把这些东西做成玩具, 藏在我自己的小屋里。

《中》

<私はこれらのものでおもちゃを作り,自分の小さな部屋に隠している>

b 钱康把电话贴在耳边, 纳闷地说:“声倒是有了, 怎么老串线?” 《王》

<錢康は受話器を耳にくっつけ,合点がいかずにいった:声は聞こえるのに,どうしていつも混線しているのか?>

c …因为电视上插在月球上的美国国旗不会飘。

<…なぜならテレビで月に挿してあるアメリカの国旗がはためいていないからである>

d 我天天泡在首都机场凡是她们局的飞机落地, 我总是急煞煞地堵着就餐的服务员问:“阿眉来了吗?”

<私は毎日首都空港に入り浸り彼女らの飛行機が降り立つところである限り,私はいつも慌てて食事をとっている係りの人に尋ねた:「阿眉は来ましたか?」>

e 不能自己走远路的鸡鸭装在笼子里, 放在牛背上。

<自分で遠い道のりを行けない鶏,アヒルは籠に入れられ,牛の背に置かれている>

(9a)~(9e)までは上位出来事CAUSE下位出来事という意味関係であった。

(9f)の動詞“掉”は「落とす」という意味の非意志的な位置変化を表す動詞であり,上位出来事が人の何かの動作を表すように想定することができない。従って上位出来事の“莫拉”と下位出来事の“钥匙在家里”をCAUSEで結べないタイプの動詞である。この場合,次のような意味構造になると考えられる

上位出来事

下位出来事

(11) 莫拉 EXPERIENCE 钥匙掉在家里

“掉”という非意志的な位置変化動詞は“莫拉”がコントロールできないので下位出来事のほうに置かれる。この種の動詞は位置変化の過程に焦点があって,現実的には「落ちて」いるということが想定できても“掉着”とはいえない。

(12) *钥匙在家里掉着。⁷⁾

このような動詞には落,跌,陷,摔…などがある(蘆涛2000)。

(13a) 假定我们的自我是落在原始世界的话,……《中》

<仮に我々の自我が原始世界に落ちたら,……>

b 我对那个梦感到一丝羞愧, 然后我想到了一个为题, 天天到底陷在怎样一种预感里? 《衛》

<私はその夢を恥じた後,ある問題に突き当たった。天天はいったいどのような予感のうちに身を置いているのだろうか?>

c 然后伸手去拿**尤蝴**用过而**摔**在**洗脸台**上的毛巾。
 <その後**尤蝴**が使ってしかも**洗面台**に落とした**タオル**
 に手を伸ばして取った>

(9g), (9h)は人間の姿勢を表す動詞である。

(9g)' (i). 肖平科**坐**在**李缙宁**房间。

(ii). 肖平科**坐**在**李缙宁**房间**坐着**。

静態義を表すとき(i)(ii)の意味は同義である。しかし范继淹(1982:185)で指摘されているように、次の例は動態義であり、“在L”は着点を表す。

(14) 他**走**到我面前，**微**微一笑，**坐**在**沙发**上。

<彼は私の目の前まで歩いてきて、微笑むと、ソファーに座った>

この意味構造は動態義の時には次のようになる：

上位出来事 下位出来事

(14)' 他**坐** . CAUSE 他在**沙发**上

“坐”や“站”などの動詞はそれだけでは動作の達成を表せず，“在沙发上”などの場所名詞と合成して、「座る」、「立つ」といった動作の達成が表される。このような動詞には睡、躺、臥、跪…などがある。

(15a) 是否她**不**愿与我**睡**在**一个**房间呢？

<彼女は私と一つの部屋に寝たくないんですか？>

b 她**躺**在**床**上**喊**。

<彼女は横になって大声で叫んだ>

c 她又**一**次**卧**在我**肩膀**上**哭**了。

<彼女はまた一度私の肩にもたれて泣いた>

d 母亲**跪**在**一旁****哀**哀地**哭**。

<母親は傍らに跪いて泣いた>

但し，“住”は典型的な静態義しかもたないようである。

(16a) 小李**在**大阪**住**。

b 小李**住**在**大阪**。(蘆涛2000)。

同じ姿勢動詞でも動態義も表しうるものとそうでないものがあり、階層をなしているようであり、これは個々の動詞を検討していく必要があると思われる。

(9i)は出現を表す動詞である。これは上位出来事を持たない動詞である。もともと名詞項を一つだけ取る動詞であるが，“在”と合成して場所名詞をもう一つ取るようになる。出現を表す動詞は“在L”への出現が瞬間的な動作である。瞬間をBECOMEで表すこととすると意味構造は次のようになる：

上位出来事 下位出来事

(17) φ BECOME女孩**在**我的视野。

他には“升起”や“发生”…などがある。

(18a) 每天早晨**睁**开眼睛，**我**就想能做点什么惹人注目的了不起的事，想像自己有朝一日如绚烂的烟花劈里啪啦**升**起在**城市**上空，几乎成了我的一种生活理想，一种值得活下去的理由。

<毎朝最初に目を覚まして考えるのは、誰かに注目さ

れることはないかしらってこと。絢爛たる花火みたい
 に、自分が都会の空にぱちぱち打ち上げられる日が
 来ることを想像して。それが、殆ど理想の人生だし、
 私が生きていく理由>

b 佛陀**出**生**在**印度。

<仏陀は印度に生まれた。>

c 她还年轻，这一切都不该**发**生在**她**身上的。

<彼女はまだ若く、この一切のことは彼女の身に起きるべきことではない>

d 我**生**长在**台南**的望族。

<私は台南の望族で生まれ育った>

この出現を表す動詞は非意志的な位置変化を表す動詞と同様に“Np在LV着”の形式を取ることはできない。⁸⁾

(9k)はそれ自体が動補構造の複合動詞で、その後更に“在L”が続く形である。

(17) 因相互推挤，不慎把候诊民众**推**倒在地的意外事件。

<…互いに押し合いへしあいして、うっかり待合室の人々を押し倒した不遇の事故>

動補動詞の補語動詞の部分は位置変化を伴う動詞で下位出来事内における位置変化である。

4. 終わりに

以上をまとめると次のようになる：

(18)

動詞の種類	在Lの意味	意味構造
a. 写, 刻(作成動詞)	事物の出現	x CAUSE[BECOME[y BE AT-Z]]
b. 挂, 放(位置変化)	事物の出現	x CAUSE[BECOME[y BE AT-Z]]
c. 掉(非意志的位置変化)	着点	x EXPERIENCE[BECOME[y BE AT-Z]]
d. 坐, 站(姿勢動詞)	存在(静態義) 着点(動態義)	[x ACT]CAUSE[BECOME[y BE AT-Z]]
e. 出现(出現類動詞)	瞬間的な発生	[BECOME[y BE AT-Z]]
f. 哭倒(動補複合動詞)	事物の出現	[x ACT(ON y)]CAUSE[BECOME [y BE AT-Z]&[y BE AT-Z]]

(18a), (18b)は他動詞, (18c)~(18e)は自動詞, (18f)は動補複合動詞である。他動詞の“在L”は“写”“刻”などのように何か新しいものを生み出す動詞, もしくは“挂”, “放”などのように目的語の位置をそこに変化させる動詞と組み合わせることができる。自動詞の“在L”は“掉”, “落”などのような非意志的な位置変化の到達点(着点), 姿勢動詞は静態義を表すときは存在場所, 動態義を表すときは同じく位置変化の到達点を表す。出現類の動詞は上位出来事が存在せず, 場所への出現を表す。動補複合動詞は既に上位出来事と下位出来事が合成されている組み合わせであり, 下位出来事的位置変化による到達点を表すと考えられる。石村2000では“V在L”式に関してかなり詳細な分析がなされているが, “出現類”や“VR”型の動詞に続く“在”についてはまだ言及し

ていない。私自身も今回は限られた動詞のみを検討しただけである。朱德熙1981で研究されている動詞全てを網羅しているわけではないので、今後更にデータを集めて分析し、中国語の動詞の本質について検討していきたい。

<注>

- 1) 例文は主に『王朔文集』の一部の作品(以下《王》と記す)、『上海宝贝』(香港版)(以下《衛》と記す)及び台湾の中央研究院が公開しているコーパス、「中央研究院現代漢語平衡語料庫」(以下《中》と記す)を利用した。詳しくは詞庫首頁(<http://rocling.iis.sinica.edu.tw>)を参照。それ以外は他の論文より引用したものである。
- 2) “L”は“locative”(場所)を表す。
- 3) “V在L”式の構文の分析に出来事構造を用いた先行研究に石村(2000)がある。
- 4) 本稿の意味構造は次の語彙概念構造に基づいている：
[x ACT(ON y)]CAUSE[BECOME[y STATE/AT-PLACE]]
xは主語，yは目的語，ACT-ONは目的語に対する働きかけ，CAUSEは使役，BECOMEは起動で，アスペクティックには瞬間を表す概念，STATEは状態，AT-PLACEは位置を表す。
- 5) 処置対象に加えて，その位置的あるいは状況的变化とかかわる第三の名詞が出現すると，動詞はしばしば第三の名詞と優先的に結合してしまい，処置対象を動詞の後に置くことが出来なくなります。そのような場合，最も無理のない方法は“把”の助けを借りて処置対象を動詞の前に置くことです。
——杉村博文(1984)——
- 6) (15e)は(一輛)白色桑塔納2000停在路边のように停められる対象である「サンタナ2000」を主語位置に移動しても成立する。
- 7) 平井1987参照。
- 8) (16c)は人間以外が主語になると，“Np在LV着”形式は可能である。
(i). *他在台南的望族生长着
(ii). 这些树在深山里生长着。
<これらの木は深山で育っている>

<参考文献>

- 秋山淳1998「語彙概念構造と動補複合動詞」『中国語学』No.245.32-41頁
陳重瑜1977The Two Aspect Markers Hidden in Certain Locatives. Proceedings of Symposium on Chinese Linguistics, 1977Linguistic Institute of the Linguistic Society of America『中国語言学会論集』台湾学生書局233-242頁
陳重瑜1992. Where Syntax and Semantics Fuse: Collection of Papers on Chinese and English. 『漢英語法・語意学論集』台湾学生書局
戴浩一1985Temporal Sequence and Chinese Word Order, TSL6. 黄河訳
1988「時間順序和汉语的語序」『国外语言学』第1期10-20頁
范继淹1982「论介词短语“在+处所”」『语言研究』第1期
郭熙1986「“放到桌子上”“放在桌子上”“放桌子上”」『中国语文』第1期.20-23頁
平井勝利，成戸浩嗣1996「動作の結果としての存在を表す表現」『言語文化論集』第XVIII巻第1号.名古屋大学.73-91頁
平井和之1987「静態動詞に関する幾つかの問題—主に“V在~”形式との関連について—」『中国語学』No.234.日本中国語学会.65-75頁
平井和之1991「朱德熙《“在黑板上写字”及相关句式》の三つの稿について」『東京外国語大学論集』第43号.47-66頁
伊原大策1986「所謂「兼語式」の変遷について—“VO在P”，“VO到P”，“VO給P”，“VO出来”など—」『中国語研究』No.25.白帝社.1-

18頁

- 石村広2000「“V在L”形式と結果表現」『人文学報』第311号.東京都立大学.93-108頁
金立鑫1993「“把OV在L”的语义、句法、语用分析」『中国语文』第5期.361-366頁
影山太郎1996『動詞意味論』くろしお出版.東京。
Li.CharlesN and Thompson.SandraA1981.Mandarin Chinese. University of California Press.
刘月华.潘文娛.故韦华2001『实用现代汉语语法』(増訂本)商务印书馆.北京
芦涛2000『中国語における「空間動詞」の文法化研究—日本語と英語との関連で—』白帝社
望月八十吉，高維先1970『中国語学習のポイント』光生館
内藤正子1987「介詞Phraseの補語性」『中国語学』No234.日本中国語学会.76-82頁
齐沪扬・唐依力2001「与“把+O+V+L”句式中心词配价相关的几个问题」『現代中国語研究』第3期.朋友書店.57-69頁
沈家煊1995「“有界”与“无界”」『中国语文』第5期.367-380頁
沈家煊1999「“在”字句和“给”字句」『中国语文』第2期.102頁
杉村博文1994『中国語文法教室』大修館書店
徐丹1994「关于汉语里“动词+X+地点词”的句型」『中国语文』第3期.180-185頁
渡邊ゆきこ1994「V+NP，V+在+NP，V+到+NPの文法的意味の記述—アスペクトの観点から見た空間の意味—」『日中言語文化比較研究』第3号.日中言語文化比較研究会83-99頁
俞咏梅1999「论“在+处所”的语义功能和语序制约原则」『中国语文』第1期.21-29頁
朱德熙1981「“在黑板上写字”及相关句式」『语言教学与研究』第1期4-18頁
朱德熙1984『语法讲义』商务印书馆

<用例出典>

- 《王》：王朔1992『王朔文集(3)』矫情卷.北京：华艺出版社
《衛》：衛慧2001『上海宝贝』天地圖書
(桑島道夫訳『上海ベイビー』文春文庫)
中央研究院現代漢語平衡語料庫：
詞庫首頁(<http://rocling.iis.sinica.edu.tw>)